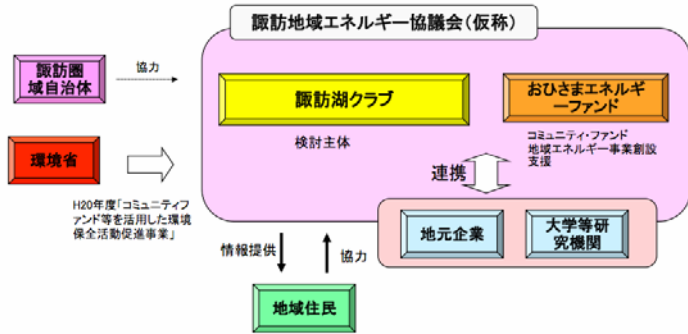


提案したモデル事業の目的

環境コミュニティビジネスとしての地域エネルギー事業を実現し、その地域での継続と広がりを支援するための、連携のあり方の検討と実際の協力体制の構築を行うことを目的とする。

提案したモデル事業の実施体制



提案したモデル事業の概要(具体的な実施事業)

本事業では、持続可能な地域モデルには、二酸化炭素(CO2)排出削減とともに地域内の自立したとり組みが重要であると考え、地域内の市民・産学官・金融の連携を行いながら、温泉熱エネルギーを中心とする環境エネルギー事業の実施に向けたモデルの構築を行う。

- 実施事項1: 地域内の産学官人的ネットワークの形成
勉強会にて、様々な主体と問題意識の共有、先進事例等の研究を行う。
- 実施事項2: 環境・金融面でのコンサルティング・サービスの提供と協力関係の構築
八十二銀行や諏訪信用金庫といった地域金融機関との連携
- 実施事項3: 市民出資活用のための専門的コンサルティング内容に関する検討
おひさまエネルギーファンド株式会社との事業内容の協議
- 実施事項4: 市民への「金融と環境」「個人のお金の使い方と社会」といった内容での普及啓発
環境パートナーシップオフィスと連携、地球温暖化における出資の位置づけ
- 実施事項5: 市民出資ファンドへの市民の参加意思や動機の調査
出資等で参加をしたいか、どういった条件であれば参加しやすいか等
- 実施事項6: 諏訪地域エネルギー事業に即した、最適な手法を検討する。
産学官・金融・市民の協力の検討結果を基にした環境エネルギー事業の検討

CB支援における実績・スキル・リソース

■ 諏訪湖クラブ

- ・環境保全活動を主目的とした、セミナーの開催、地域保全活動

■ おひさまエネルギーファンド株式会社

- ・自然エネルギー・省エネルギー起業講座
- ・太陽光発電事業、省エネルギー事業、グリーン熱給事業の実施
- ・環境エネルギー事業を対象としたファンドの運営

スケジュール

※10月に中間報告、2月に成果報告書を作成

地域連携	7月下旬～8月上旬 現状分析、先進事例行政との意見交換	9月～11月上旬 地域モデルの検討	11月～12月上旬 事業主体に関する検討	12月下旬～1月 地域モデルの完成
環境金融面	7月下旬～9月 エネルギー利用技術等に関する検討 適地、事業性、事業化の連携体制	10月中旬～12月 コンサル内容と協力体制の検討 -ファンド組成		
EPO金融機関		10月～11月 ・EPOとの連携体制の検討、協議	11月～1月下旬 ・他コミュニティファンド、金融機関との連携の検討	